

社会福祉法人まりも会 清瀬療護園 広報紙

ほのぼの通信

第58号

〒204-0023
清瀬市竹丘3-1-72
清瀬療護園
Tel: 042-493-3235
Fax: 042-493-3234
発行：地域福祉委員会 (広報部門)



年始のご挨拶

清瀬療護園 施設長 中野公広

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで当事業所は平成29年4月に無事に施設移転をすることが出来ました。これも皆様



のご理解・ご協力の賜物であり感謝を申し上げます。また本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

新施設での生活も9か月が過ぎ、ご利用者・職員ともに環境の変化に慣れ、日々の暮らしも落ち着いて参りました。引越当初は慣れないユニット形式や真空調理等での食事提供など新しい環境や支援体制に混乱が生じましたが2か月もすると手慣れた様子で準備をする職員を見て心強く感じました。まだまだ改善や工夫できる点はありませんが、一つひとつをみんなで話し、みんなで実践できるよう取り組み、より良い利用者支援に繋げて参ります。

旧施設と比較して大きな変化

があつた事の一つが地域との関わりです。旧施設では、どちらかと言えば施設内完結傾向であり地域の皆様との関りはほとんどありませんでしたが、新施設では「地域のなかの私たち」と手をつなぎ、みんなでつくる「地域の輪」をコンセプトに掲げ、喫茶店運営や多目的室・会議室の貸し出し、また地域の皆様との交流は清瀬療護園祭り・保育園児を対象とした「夏祭り」、そして地域の方に主催していただいた夏の子祭り、地域交流企画「アイスクリーム作り」体験などなど多くの行事を開催させて頂いた。ご利用者・地域の皆様からもご好評をいただきました。

これからもより良い利用者支援、地域の活性化に積極的に取り組ませていただき「地域のなかの私たち」になれるよう精進して参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

ごあいさつ

清瀬療護園 利用者自治会会長

大島由子

皆さん、明けましておめでとうございます。新しい建物に昨年の4月に引っ越しをして、だいぶ落ちついてきました。利用者の皆さんもこの生活に慣れてきたことと思います。

今年も、ここに住んでいる人たち、通所で通われている人たちが、元気で楽しく過ごしていけたらいいなと思っています。

私をはじめ、みんなでがんばっていきたいと思います。どうぞこれからも、よろしくお願ひします。



近隣の皆様へ

旧清瀬療護園の解体工事ご協力のお願ひ

昨年の12月より旧清瀬療護園の解体工事が始まりました。工事期間中は車両の出入りや騒音等で、近隣の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解ご協力いただけますよう、お願ひ申し上げます。

『カーサ マリモ』開所

まりも会念願のグループホーム

この度、まりも会念願のグループホーム・短期入所施設『カーサ マリモ』(CASA MARE;MO)が、清瀬市中里5丁目に開所しました。利用者の方の利用は1月の中旬からを予定しています。



グループホーム「カーサ マリモ」正面から撮影

中里グループホーム開設に寄せて
社会福祉法人まりも会 常務理事 浅野正裕

今回のグループホームの開設には二つの意味があると考えています。一つには、これまで行政からの委託事業及びそれに準じた事業展開を行ってきた「まりも会」が、昭和37年の東京久留米園の開設以来、初めて法人として自主的に事業を立ち上げた事です。もう一つは、小金井市障害者福祉センターを除いて、入所系の施設運営を主に行ってきた「まりも会」が、地域生活移行の拠点としてグループホームを立ち上げた事です。

清瀬療護園に引き寄せれば、清瀬療護園が東京都から「まりも会」への民間移譲が示された頃、民間移譲(平成24年)後の短期の事業計画として地域生活移行支援を掲げ、その一つに「グループホームの建設」がありました。これは入所施設として数十年、その間の時代の变化、終の棲家から自立支援、待機者の変化(医療ケアの増大)

等の中で、療護施設役割とは何かを問う中で出された事業計画でした。

中里のグループホームには救護施設「く

るめ園」の入所者も利用することになりました。「くるめ園」も清瀬療護園と同様に、身体障害者の終の棲家としての役割を終え、救護施設本来の役割への転換が求められています。グループホームの開設は、入所施設の在り方を問うと同時に、地域福祉展開の初めの一步であります。その先には、訪問系の事業を構想する必要もあると考えています。

施設内完結から地域へ、地域が施設へのイメージの中で支援の在り方を絶えず考え、利用者にとっても、地域にとっても必要な事業を行っていききたいと思えます。



グループホーム居室



廊下(右側が居室)

9月18日

年間行事

清瀬療護園祭り 盛大に

来園者は600人！

「清瀬療護園祭り」が9月18日(月)・祝)に当園にて盛大に行われました。利用者のご家族や地域の方々など来園者は600人にもなりました。

活動室や広場には、模擬店の「焼きそば」「カレーライス」「カキ氷」「わたあめ」「ポップコーン」「わなげ」「スーパースポールすくい」などのお店が並び、大盛況でした。地域の子ども達もたくさん来しました。特設ステージでは、利用者の川島

正幸さんによる『英語でのポエムの発表』、職員の知り合いの方の『トロンボーン4重奏』、歌手の『懐メロなっちゃん』のショーがありました。

子連れで来園された近くに住む主婦の方は「どんな施設がよく知らなかったけれど、今回のお祭りで見ることができて良かった。近所の子ども達にも声をかけ一緒に楽しかったです」と話していました。

した。

今回、清瀬市社会福祉協議会から「わたあめ機」や「カキ氷機」「ポップコーン機」などの他、パイプ椅子やベンチ、長テーブルなども借り、お客さんが一度に100人来てても、充分座って休憩できるスペースを作っていました。

たくさんの人に来ていただいて、また存分に楽しんでいただけただけで、良い「お祭り」にすることができたと思います。「清瀬療護園祭り」に来てくださった方々、ボランティアに来てくださった方々、ありがとうございました。



正面入り口(当日)



ステージでのトロンボーンの演奏



地域の子どもたちもたくさん来ました

9月27日

G8ユニット企画

フラダンスの世界へ

9月27日に『フラ・スタジオ・NAPUA(ナプア)』の皆さんが

来園され、フラダンスを披露しました。利用者の方から「普段なかなか見られないので、良かった。ハワイに行つたようだった」「波のような優雅な踊りが良かった」などの声をいただきました。『フラ・スタジオ・NAPUA』の皆さん、どうもありがとうございました。



ショーを観る利用者の方



「さあみんな！よく見ててよ！」

10月25日(水)、クラウン(仮)に扮したパフォーマー『じっきー』さんが来園し、ジャグリングやヨーヨー、バルーン(風船)などのパフォーマンスをし、利用者の方を「じっきーワールド」に引き込みました。じっきーさんは社会福祉士の資格も持っているとのこと。『じっきーさん』、楽しい時間を、どうもありがとうございました。

楽しい大道芸人が来た 10月25日

クラウンじっきーさんのショー



GOユニット企画

10月27日

年間行事

お化け屋敷も登場 ハロウィンパーティー



「これからパレードに行きます！」
仮装をする利用者の方と職員

ハロウィンパーティーが、10月27日(金)にありました。利用者の方や職員は「とんがり帽子」やお面、ボディペインティングなどの仮装をし、列を作り施設内をパレードしました。また、今年は1階活動室に、職員による手作りの「お化け屋敷」が登場し、皆で楽しみました。「ぜんぜん怖くなかった」という方がいる一方、「すごく怖かった」。泣きそうになったという方もいました。おばけ屋敷を作った須永職員は「まあまあうまく出来たと思います。おばけ屋敷を創るにあたっては、少ない作成時間で最大の効果を挙げることを常に念頭において創りました。やりたかったけど時間がなくて創れなかったものもたくさんあるのですが、機会があったらまた創ってみたい」と話していました。



お化け屋敷



清瀬療護園のコーナーを見る来場者

コーナーは、一般の人でも利用できるのですか」という質問などが職員に寄せられたため、その都度、丁寧に説明しました。

10月28日

『きよせふれあいまつり』が10月28日(土)に清瀬市コミュニティプラザ(清瀬市下清戸)で行われました。清瀬療護園は展示部門で参加し、当園をPR(広報活動)してきました。来場された方から「どのような人が利用できるのですか」という質問や「施設にある喫茶コーナーは、」



施設内をパレード

きよせふれあいまつり

清瀬療護園をPR

かわいいサンタたちがやってきました

12月3日



ジャズダンスショー

「中村日香withかわいいサンタたちによるショー『Jazz Dance Stage』」が、12月3日(日)に1階活動室でありました。

(G7ユニット企画)

G7ユニット企画

ステージ発表を終えて

清瀬療護園 職員

中村日香

ステージ発表、無事に終えることができました。

当日は、なんと30名近くの人に観に来ていただきました！ 本当におりがとうございました！

アンコールも含めて5曲ほど躍らせていただきましたが、全ての曲で手拍子をしてくださったり、終わつた後も素敵な笑顔に向けて頂いたり、そんな雰囲気の中で、踊っていた私たちもとても楽しい素敵な時間を過ごすことができました。

また、アンコールをいただきましたが、アンコールをいただけるなんて考えてもいませんでした。急ぎよ、その場にいた職員にタンパリンの



『リズム・セクシオン』を結成してもらって、一緒にアンコール・ステージを作りました。楽しかったです。また機会がありましたら、次は全職員と一緒にサンタの衣装を着て踊りたいと思います。

ショーを観に来ていただいた方、どうもありがとうございました。

いつでも自分好みの髪型に 出張訪問美容室さん

清瀬療護園では新築移転後も毎月1回『出張美容室ビーフェル』さんに来ていただいています。

一般の美容室・理容室で行われているサービス全般を利用者の方へ提供することができます。利用者の方からは「いままで近くの美

容院に行っていたけれど、雨のときは大変だったから、この美容院さんが来てくれるようになってとても助かっています」「シャンプーやリンス、髪染めもやってもらえるので、毎回楽しみにしています」などの声が聞かれています。



シャンプーをしています



カットをしてもらう利用者の方



12月17日

ゴスペル・コンサート

女性コーラス「ワイルドオルガン」さん

ゴスペルを中心にパワフルコーラスをとどろかせる女性ヴォーカルチーム『ワイルドオルガン』さんが、今年も清瀬療護園にやってきました。12月17日(日)、1階活動室のステージでパワフルな歌声でクリスマス曲など数曲を披露しました。

ワイルドオルガンさんとは顔なじみの利用者の土光郁子さんは「ゴスペルのお姉さん達がいつもこの時期に来るのを毎年楽しみにしています。コンサートが始まる前に、ゴスペル

のお姉さん達が歌の練習をするのが聞こえて、2時半からの歌が始まりました。クリスマスソングをいっぱい歌ってくれたので、居住者達や職員も盛り上がりました。すごく楽しかったです。また来年も来てほしいな」と話していました。ワイルドオルガンの皆様、寒い中、当園にお越しいただきありがとうございました。



ワイルドオルガンさんのステージ



ワイルドオルガンさんと一緒に

12月20日

年間行事

クリスマス会 にぎやかに



くじ引き大会やハンドベル演奏

園の年間行事のひとつ『クリスマス会』が12月20日(水)に、1階活動室で行われました。たくさんの方々が集まったため、廊下まで会場を広げての開催でした。

佐藤副施設長による開会の挨拶のあと、職員によるオープニング演奏(ホルン・ベース・鈴)、大学生(実習生)による『クリスマスのクイズ』、くじ引き大会、職員及び利用者によるハンドベル演奏、マジック同好会の『マジック(手品)』と続き、最後は中野施設長の終わりの

言葉で幕を閉じました。

クリスマス会を統括した五十嵐職員は「職員が皆協力してくれて助かりました。出し物やくじ引き大会も良かったと思います。くじ引きのときは、ドラムロールとシンバルを入れたりして、とても盛り上がったと思います」と言っていました。

マジック同好会の皆さん、学生さん、ボランティアの皆さん、来ていただきありがとうございました。



職員によるオープニング演奏



クリスマス会を楽しむ利用者の方々



マジック同好会の方のショー



利用者の方によるハンドベルの演奏

今と昔

清瀬療護園 利用者(通所) 石川真由美

30数年前の話です。私が18歳のとき、「入所施設」から小平養護学校(当時)への通学を認めてくれたのが清瀬療護園でした。それが決め手で、清瀬療護園に入所しました。

清瀬療護園に入所して、学校に置いていた電動車椅子を清瀬療護園に持ってきて、今は亡き川澄さんや田島さんなどに、その練習を見てもらいました。その後、その電動車椅子に乗って、イトーヨーカドーや清瀬

駅前の子イ(総合スーパー)に行つて、買い物をしました。部屋に敷くじゅうたんを買って、それを車椅子の後ろにくくり付けて帰ってきたときは、そのひもをほどくのに職員が大変な思いをしました。ファンシーケースを買ったときも車椅子の後ろにくくり付けて帰ったから、その時も職員を困らせました。

その頃の清瀬療護園には和室もいくつかあって、私の部屋は和室でした。部屋には、酒瓶、ポット、コーヒー、水などを、足の届く範囲に置いて生活していました。「寝る前の準備」で職員にウイスキーの水割りセットしてもらって、飲みながら寝ていました。

食堂はひとつしかなかったのですが、ご飯を食べるときは、みんなが食堂に集いました。だから、食堂があることで、みんな元気がどうか分かったし、厨房が個別に提供するメニューを間違ったときも、すぐに言うことができました。出前をとった人からおかずをもらったこともありました。食事の時にみそ汁や水分を飲むときは、子ども用の蓋つきコップ『マグマグ』を使っていました。マグマ

グは私が清瀬療護園に広めました。その頃は、居住者自治会活動や居住者同士の交流も活発でした。私はみんなの「御用聞き」で、他の居住者にプレゼントをしたり、もらったりもしていました。

今は、新築移転しましたが、そんな利用者同士の交流の場があまりないように感じます。

お風呂ですが、昔はみんなで「大浴場」に入っていました。銭湯みたいでした。だいたい、誰がこのシャワーを使うか、なんとなく位置が決まっていた、引き戸の外には脱衣場もありました。だから、2年くらい入所していた清瀬療護園を退所して一人暮らしをするようになってから、旅行へ行っても「銭湯」に平気で入ることができました。

昔は本当に自由でした。お正月は、職員に「介護人室」でお餅を焼いてもらって、皆で食べたり、自分の部屋ではなく、他の人の部屋に泊まりに行ったりしました。行事の時は、アルコール(お酒)も出て、利用者と職員が一緒に飲んで、酔っ払いが続出しました。

でも、そんなところが、好きでした。昔を回想すると、今はなんだか規則が多くて、息苦しい感じがします。昔の療護園に戻ってほしいと思います。

利用者の方へのインタビュー

今回、清瀬療護園利用者の寺崎雅子さんにインタビューしました。

広報担当→新しい施設に移ってどうですか？

寺崎さん→清瀬療護園に来てから早20年目になりました。今回、新しい施設に引越しをしてから、良くなったことは、雑木林が近くにあり、春の芽吹きから秋の紅葉まで、近くで見られるようになったことです。

また、新施設では喫茶店が開店したことから、夏はコーヒーフロート、最近は寒くなってきている為、ホットコーヒーを飲みに行っています。

お風呂は新しく、機能的で無駄がないので、気持ちよく入浴させてもらっています。

不都合な点として、職員が8ユニットに分散しているため、前の施設のように一箇所に集まることがなく、ちょっとした用事を頼もうとするときに、職員を見つけにくいことがあげられます。また食事は、真空調理のためか色が悪く、あまり食欲がわかないことも多いです。

引越ししてから、ユニット企画のイベントがたくさん実施されるようになり、毎回楽しみにしています。「外出・外食企画」も便利に使っています。月1回の落語「日中寄席」も楽しみにしています。

寺崎さん、どうもありがとうございました。

職員紹介

神野 一希

(生活支援課)

私の趣味はラーメン屋巡りで、休みの日に埼玉や東京にある店に行ったり気になるラーメンを食することです。私が福祉に興味を持ったきっかけは、中学生の時に知的障害を抱えている利用者が働く喫茶店で3日間のボランティアとして働いた事、実家の街がとも福祉に力を入れている事、また大学生の時は電車通学をしていましたが、その時に車椅子に乗っている乗客が駅員さんの補助で電車に乗っている所を見かけた事などがあります。身体障害者の方を見かけることが多かったため、徐々に、その方たちの手助けをしたいと思うようになり、入職しました。色々とは分らない点もありますが、利用者様にはご迷惑をおかけする時もあるかと思いますが、今後とも頑張っていきたいと思います。

萬代 朝美

(生活支援課)

介護職の経験がなく、日々勉強の毎日ですが先輩方から優しく指導して頂き、一歩ずつではありますが支援員として成長していければと思っています。利用者の方とは、楽しい毎日を送れるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



伊藤 茜

(生活支援課)

昨年4月に入職し、9カ月が経ちました。障害者施設で働くのは初めてなので、分からないことがたくさんあり、ご利用者や職員の方々にご迷惑をかけてしまう事もあると思いますが、どうぞ宜しくお願いします。

＜お願い致します。＞



原 みゆき

(生活支援課)

今まで携わった仕事は多種多様で、若い頃は楽しさを優先していましたが、最終的には人の役に立つ仕事をしていきたいと思ひ、こちらでお世話になる事となりました。視覚障害の方の支援経験はありましたが、身体障害の方は初めてでしたので、今までに利用者の皆様に不安な思いをさせてしまった時もあったかと



思います。早く利用者の方に信頼して頂けるような支援員になりたいと思っています。どうぞ、ご指導のほどよろしくお願い致します。

三上 祐樹

(生活支援課)

清瀬療護園に入職してから、半年以上が経ちました。以前は、老人ホームに勤務していましたが、老人ホームで経験してきたことは違った難しさ、大変さがあります。新しい発見もあります。今後は更に利用者との信頼関係を深め、安心感を与えられるように努力していきたいと思ひます。今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。

